

浅羽野中だより 「胡桃の木」 カラー版 No.17

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」を身につけた生徒の育成～

令和5年10月25日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

早いもので今月もあと1週間弱となりました。インフルエンザが流行の兆しにありますが、本校では先週コロナ感染症のため4クラスが学級閉鎖になりました。今週に入りインフルエンザに罹患した生徒も増えつつあり、2つの感染症に気を付けながら生活しなければならない日々が続きます。来週の火曜日には胡桃祭 合唱の部も行われますので、お子さんや保護者の皆様の体調管理には十分お気を付けください。

〔 新人体育大会県大会に陸上部・野球部出場 〕



新人戦の県大会が各会場で行われています。本校では陸上部



と野球部が見事に出場権を獲得し、堂々とした走りやプレーを披露しました。陸上では岡 咲良さんが、1年女子100m走で予選を通過し、決勝では素晴らしい走りで4位に入賞しました。そのほかの競技も決勝進出まで僅差に迫るなど、健闘しました。また、野球部（浅羽野中・桜中合同チーム）は、走攻守を生かした活躍で1回戦を5対1で勝利しました。本校の生徒も打撃と守備に大いに貢献しました。2回戦目は私立の付属中学校と対戦し、0対4を最終回で追いつき、特別延長戦（ノーアウト1, 2塁から）の末、7対6でサヨナラ勝ちを収めました。最終的に県大会ベスト8という立派な成績で終了しました。

〔 入間北部地区駅伝大会（坂戸市予選会） 〕

18日（水）に川越総合運動公園で、入間北部地区駅伝大会（坂戸市予選会）が行われました。1年生から3年生までの駅伝参加を希望したメンバーが、




この日に向けて一生懸命走り込んできました。男女ともに力強い走りで、それぞれの選手が全力を出し切りました。ただ、コロナの関係で満足な練習が出来ず、当日も体調不良で参加できない生徒が複数いるなど、感染症による影響が大きかったことが残念です。そんな中でも、女子1区の五十嵐 乃愛さんは、区間賞を獲得する素晴らしい走りを見せてくれました。男女ともに万全の状態ではありませんでしたが、浅羽野中の代表として、立派なレースを展開してくれました。

[生徒会立会演説会及び選挙]

第42期生徒会総務役員の任期満了に伴い、次期生徒会役員を決める立会演説会及び選挙が20日(金)に行われました。感染防止のため、立会演説会は体育館ではなくリモートで実施しました。立候補者とその応援演説を担当する生徒は、画面に向かってみんな堂々とした態度で立派な演説を披露していました。投票は学年ごとに投票場所を設定し、坂戸市選挙管理委員会から借用した、選挙の際に使用される投票箱と投票記載台を用意して、投票を行いました。生徒が18歳になった後、今回使用した物と同様の投票箱や記載台を使うことになるかもしれません。

選挙で選ばれた新生徒会総務役員は以下の通りです。より良い浅羽野中学校を築き上げるために、頑張ってくださいと思います。

第43期浅羽野中学校生徒会総務役員

生徒会長	峰岸 凜(2年)	
副会長	渡邊 琴美(2年)	
総務役員	奥山 はな乃(2年)、北越 芽衣(1年)、伊藤 唯花(1年)	

(敬称略)

[「広報さかど」に掲載されました]

学校だよりNo.10でも詳しくお伝えしましたが、2年生を対象にした「いのちの授業」の様子が、「広報 さかど」10月号に掲載されました。AEDの操作では、訓練用人形相手でしたがみんな真剣な面持ちで取り組んでいました。本校のAEDは、昇降口の屋外型収納ボックスの中に設置されています。社会体育等で本校を使用する際に緊急事態が発生した時は、ためらわずボックスから取り出して使用してください。



命の授業(浅羽野中学校)

7月13日に、埼玉医科大学総合医療センターの救急救命士や看護師が講師となり、浅羽野中学校の2年生を対象に「命の授業」が行われました。命の重さについて考え、心臓マッサージ(胸骨圧迫)、AEDの使用といった心臓蘇生法を実践的に学ぶ授業となりました。

浅羽野中学校で「命の授業」

「広報 さかど」 10月号15ページ

11月の行事予定

3日(木) 文化の日	17日(金)	小中合同一斉下校
6日(月) 小中合同挨拶運動(～7日)		テスト前部活動停止(～24日)
7日(火) 三者面談(～15日)	20日(月)	薬物乱用防止教室
9日(木) 学校朝会	22日(水)	期末テスト
吹奏楽部アンサンブルコンテスト	23日(水)	勤労感謝の日
14日(火) 県民の日(学校閉庁日)	24日(木)	期末テスト
15日(水) 開校記念日(授業日)	29日(水)	学校保健委員会
16日(木) 特別日課(下校時間 13:10)		